

**(リスクアセスメント) 高所での除草作業 作業手順書**

会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱	主な設備、使用機械	高所作業車	主な使用工具、器具	墜落制止用器具	安全設備、保護具	ヘルメット、手袋(手鎌使用時は切創防止)、安全靴又は足袋又は長靴、保護メガネ又はフェイスシールド、	使用材料	
作成日	2024年11月25日		2tトラック・パッカー車		ロープ高所作業用昇降器具		しらすんだー受信機、消火器、ポイズンリムーバー		
改訂日			連絡車		立入防止柵乗越用器具				
作成者	高島 直人・飛田 悟郎					作業人員	3名以上		
必要資格等	自動車運転免許、高所作業車運転特別教育(作業床10m未満)又は技能講習(作業床10m以上)、フルハーネス型墜落制止用器具特別教育、ロープ高所作業特別教育								
備考	・刈払機の選定については、別紙「草刈作業の使用機械選定フロー」を参照。 ・パッカー車への積み込みや草刈作業については、それぞれの作業手順書を参照。 ・ケーブル等との近接作業になる場合は、「光通信ケーブル等近接工事 施工計画書(植栽作業)」を参照。 ・墜落制止用器具については、メンテ名古屋「安全ニュース」2023Vol.29参照。								

可能性	1:ほとんど起きない (6年に1回程度)	2:たまに起きる (1年に1回程度)	3:かなり起きる (6ヶ月に1回程度)	×	重大性	軽微 (不休災害)	重大 (休業災害)	極めて重大 (死亡・障害)	=	評価	対策変更の 必要なし	対策が必要	即座に対策 が必要
	頻度率:1	頻度率:2	頻度率:3			危険度:1	危険度:2	危険度:3			1~2	3~4	5~9

作業工程	No	単位作業とその主な手順	危険有害要因(予測される災害・事故) (品質、トラブルも含む)	危険要因			危険有害要因低減対策	誰が 点検・確認	対策後			参 考 図 (写 真 等)
				可能性	重大性	評価			可能性	重大性	評価	
準備工	1	作業内容の打ち合わせ	現場、施工方法等について十分な知識を有していない	2	2	4	リスクアセスメントを活かした危険予知活動をする	職長	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体編【WH-27】墜落制止用器具</li> <li>作業編【WO-01】敷板(ジャッキベースの格納)</li> <li>作業編【WO-02】敷板の使用</li> <li>作業編【WO-03】車両本体の設置方向</li> <li>作業編【WO-04】前後輪留め設置</li> <li>植栽編【PL-01】草刈鎌、専用刈刃、チップカバー、トリマー</li> <li>植栽編【PL-02】トリマー型草刈刃</li> </ul>
	2	作業人数の確認	作業における不適切な人数の配置、及び無資格者の作業	2	3	6	作業において、適切な作業人数を確認し、業務に係る特別教育を修了している人員の配置、健康状態の確認、アルコールチェック	職長	1	1	1	
	3	使用機械の点検	機械、工具が誤作動、現場にて稼働しない	2	2	4	機械・器具の不備はないか	全員	1	1	1	
	4	保護具の点検	身の安全を守る保護具の故障	2	1	2	不具合のある保護具は使用しない	全員	1	1	1	
	5	作業方法の確認	各自の作業が不明確で不安全行動を起こす	2	2	4	各自の作業内容、作業手順を確認する	全員	1	1	1	
	6	高速道路に入る前にプレート区間の確認(本線作業時)	プレート区間外使用、不正使用	3	2	6	通用区間、プレート、車番を確認する	運転手、助手	1	1	1	
	7	救急箱などの用意	ケガ・ハチ刺されなどの応急の手当てができない	2	2	4	消毒・ポイズンリムーバー等の用意	全員	1	1	1	
	8	車両点検、荷姿チェックをする	積荷の飛散、スベアタイヤの落下	2	3	6	車両点検、荷姿チェックを乗車員と確認	乗車員	1	1	1	
	9	規制設置での確認(本線での作業)	標識の視認性・規制箇所の確認	2	1	2	規制材・規制簿・規制設置での危険予知をおこなう	全員	1	1	1	
移動	1	交通ルールの順守	人身、物損事故	3	3	9	指差呼称を実施して安全確認する	運転手、助手	1	1	1	
	2	現場到着後は歩行者、通行車両に邪魔にならない様に配慮して駐車する	歩行者、班員、通行車両、工事用車両との接触	2	1	2	駐車した箇所が適切な場所か確認する	全員	1	1	1	
	3	車両はハンドル切、サイドブレーキ、輪止めを必ずする	車両が自走して、他に接触する	3	1	3	車両はハンドル切、サイドブレーキ、輪止めの確認	全員	1	1	1	
				1	2	2					注意事項	
本作業	1	規制設置(本線での作業)	一般車との接触	3	3	9	保安員の指示・なるべく一般車が確認できる態勢での作業	全員	1	2	2	・手鎌を使用する場合は、切創防止用手袋を使用する。
	2	適切な保護具の着用	保護具未装着によるけが	1	2	2	適切な保護具の着用確認	全員	1	2	2	・刈払機を使用する場合は、保護メガネ、又はフェイスシールドを使用する。
	3	高所作業車を使用	不安定な場所での高所作業車の設置、作業員の墜落	2	3	6	アウトリガー設置場所、敷板・墜落制止用器具の確認	作業員	1	1	1	・無断で民地に立ち入らない。
	4	草刈機や手鎌での作業	刈手に作業員が近づいていないか	2	2	4	刈り手・寄せ手の作業間隔をあげる(5m以上)	作業員	1	1	1	・回転刃式刈払機を使用する場合は、ヘッド部分(回転刃部分)が外れないよう、始業前に点検する。
											・夏期ハチ注意(殺虫剤の携帯)。	
作業終了と片付け	1	その日の終了した現場確認	現場に道具等の置き忘れ	1	2	2	現場を出るときに最終確認をおこなう	作業員	1	1	1	
	〃	〃	敷板の置き忘れ、走行中に落とさないか	2	2	4	車両をチェックする	作業員	1	1	1	